

# サトイモ産地は必須！ 「土入れ」技術による効果

農林水産研究所

## ◆全期マルチ栽培における土入れ

現在、サトイモの土寄せ、追肥を省略する全期マルチ栽培が定着しています。また、芋の良好な肥大促進による収量や品質向上のため、5月下旬～6月中旬にマルチ上部へ覆土する土入れが必須作業となっています。



歩行型管理機(左)および乗用管理機(右)による土入れ作業



土入れ後の畝

## ◆土入れの効果

○1株あたり地上部生育(定植日：4月4日、調査日：8月16日)

	草丈 (cm)	葉柄長 (cm)	葉長 (cm)	葉幅 (cm)	子莖数 (本)
土入れ無	208	174	66.6	50.1	4.6
土入れ有	196	163	60.4	45.6	6.1

○1株あたり地上部生育(定植日：4月4日、調査日：11月10日)

	親芋重 (g)	子芋		孫芋		子・孫芋重 (g)	筍芋数 (個)
		数 (個)	重量 (g)	数 (個)	重量 (g)		
土入れ無	711	7.5	463	16.2	1,017	1,480	4.8
土入れ有	658	7.7	604	15.6	1,189	1,793	1.8

<土入れのメリット>

①子莖の萌芽促進 → 子・孫芋重の増加

②畝内部の高温・乾燥防止 → 筍芋など生理障害芋の発生抑制